

米ジョージアに新工場

浄化槽製造販売のフジクリーン工業



オーガスタ市に開設した新工場

浄化槽製造販売のフジクリーン工業（本社名古屋市千種区、後藤雅司社長）は29日、米ジョージア州に工場を新設、稼働したと発表した。家庭向け小型浄化槽を生産する。生産台数は、2年後のフル生産時で年3千基。米国内で完成品まで一貫生産するのは、今回が初めて。現地で家庭用小型浄化槽の需要が拡大していることに対応する。

家庭向け製品一貫生産

新工場は、ジョージア州オーガスタ市の既存工場を賃借した。延べ床面積は、5760平方メートル。うち2880平方メートルに生産ラインを整備した。投資額は非公表。販売する家庭用浄化槽は、FRP（繊維強化プラスチック）製で、一般的な米国製の浄化槽に比べ軽量で運搬や施工がしやすい。排水処理の性能が高いことから、東海岸などでニーズが高いという。

2013年7月に、米国メイン州に現地法人「フジクリーンUSA」を設立。14年に、トイレからの汚水と生活排水を合わせて処理できる「合併処理浄化槽」の認証試験を取得し、米国市場に参入した。米国で販売網を拡大し、

昨年は家庭向けと商業施設向けで合計2500基を販売した。これまでは日本から完成品を輸出していたほか、一部の機種については部品を輸出し、現地の協力工場を組み立てていた。

